

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	最近の更新年月日
知多市	岡田地区	平成27年3月27日	令和6年3月25日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	195 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作面積の合計	145 ha
③地区内における65歳以上の農業者の耕作面積の合計	104 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	75 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	70 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積	85 ha
(備考) アンケート調査結果は令和元年度に実施したもの。	

### 2 対象地区の課題

<p>地区内農地のほとんどがほ場整備済であるが、未整備区域内は1筆の農地が小さく、耕作機械の搬入が困難なため基盤整備が求められる。こうした区域では担い手の引き受けが難しく、今後どうするかが課題となる。</p> <p>整備された農地ではあるが、担い手が引き受けた農地が分散しており、集約化が望まれている。</p>
---

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>県営ほ場整備区域においては中心経営体が担うほか、入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進する。</p> <p>未整備区域においては、利便性の向上を図るため、基盤整備を行う。</p> <p>中心経営体又は入作を希望する認定農業者や認定新規就農者の受け入れを進め、収益性の高い園芸作物の生産を促す。</p>
--

#### (中心経営体)

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		計画	
		経営作目	経営面積 (ha)	経営作目	経営面積(ha)
認農法	(株)扶桑農産	露地野菜・水稲	0.30	露地野菜・水稲	1.30
	杉江 悠希	施設・露地野菜	0.53	施設・露地野菜	1.00

認農	牧 元治	施設野菜	0.63	施設野菜	0.63
認農	新海 正敏・孝典	果樹・水稻	0.87	果樹・水稻	0.87
認農	竹内 雅一	露地野菜・水稻	0.75	露地野菜・水稻	2.00
認農	竹内 真一	果樹	1.17	果樹	1.50
認農	竹内 利王	露地野菜・果樹	2.63	露地野菜・果樹	3.33
認農	竹内伊三夫	施設野菜・水稻	1.65	施設野菜・水稻	1.65
認農	竹内 健統	施設野菜・水稻	2.70	施設野菜・水稻	2.99
認農	竹内 稔尚	施設野菜・水稻	0.90	施設野菜・水稻	1.50
認農	竹内 延宏	施設野菜・水稻	3.22	施設野菜・水稻	3.22
認農	伊井 伸昭	施設花卉	1.90	施設花卉	1.90
認農	竹内 克彦	施設花卉	1.56	施設花卉	1.56
認農	竹内 武士	施設野菜	1.93	施設野菜	1.93
認農	竹内 誉人	施設野菜	0.14	施設野菜	0.14
	竹内 秀喜・千晶	露地野菜	1.96	露地野菜	2.10
認農	永井 梅訓	施設野菜	1.25	施設野菜	1.25
認農	永井 英樹	施設野菜	1.27	施設野菜	1.07
認農	高橋 至	露地野菜	3.68	露地野菜	3.68
認農	石井 三好	水稻	0.00	水稻	1.00
認農	森田 寿一	露地野菜・水稻	2.56	露地野菜・水稻	2.56
	加古 孝	露地野菜	0.64	露地野菜	0.70
認農法	(有)千姓	露地野菜・水稻	2.82	露地野菜・水稻	5.00
認就	伴 圭	露地野菜	1.47	露地野菜	1.50
認農	太田 旭	水稻	4.49	水稻	7.00
	鈴木 章	施設・露地野菜	0.92	施設・露地野菜	1.22
	竹内 修司	施設野菜・果樹	2.64	施設野菜・果樹	3.00
認農法	(株)ブルーチップファーム	施設野菜	0.00	施設野菜	1.00
認農	松村 次郎	施設野菜	0.00	施設野菜	0.50
認農	山口 喜充	水稻	0.00	水稻	1.00
認農	渡邊 政利	施設野菜	0.12	施設野菜	0.60
	伊藤 武久	施設野菜	0.00	施設野菜	0.30
認農法	(株)SOA FOODS	露地野菜	0.00	露地野菜	0.80
認農法	(株)トクイテン	施設・露地野菜	0.60	施設・露地野菜	0.60
認就	垣内 良平	露地野菜	0.00	露地野菜	0.50
	村上 直弥	水稻・露地野菜	0.44	水稻・露地野菜	1.00
認就	牧 里美	施設・露地野菜	0.00	施設・露地野菜	0.30
認就	上野 恭史	施設花卉	0.35	施設花卉	0.35
	坂野 俊輔	施設果樹	0.00	施設果樹	0.30

認就	石井 徹	施設果樹	0.37	施設果樹	0.60
認農法	あぐりシーティング(株)	水稻	0	水稻	0
計	41 経営体		46.46		63.45

#### 4 3の方針を実現するために必要な取組

<p>中心経営体への集積を進めるとともに、若手後継者の育成に取り組み、継続的な営農活動を維持していく。</p>
<p>大規模な経営体による営農も進んでいるが、県営岡田地区ほ場整備事業区域内に集つまり易い傾向にあることから、地域における定期的な話し合い等により、農地の集積を進めていく。また、中心経営体又は入作を希望する認定農業者及び認定新規就農者に引き受けの意向を確認する。</p>
<p>未整備地区では利用しやすい農地に整備するため、農地中間管理機構や小規模農地整備事業等を活用し、収益性の高い園芸作物の生産に取り組む。</p>

#### (農地の貸付け等の意向)

農地の所在	貸付け等の区分 (㎡)		
	貸付け	作業委託	売渡
県営ほ場整備事業岡田地区、奥障子、西宝面、宝面堂	241,536	0	267,530
計	241,536	0	267,530

※貸付け農地の詳細につきましては市農業振興課で確認することができます。